

きらめき通信 V.01.34

みなさんこんにちは、梅雨も明け厳しい暑さが続いております。
今回は、5月31日と6月21日に医学部医学科2年生を対象に行われた「性差医学入門講義」の様をお届けします。

講師に九州がんセンター乳腺科部長の徳永えり子先生とたかやま内科
医院理事長の雨宮直子先生をお招きし、乳がん治療などの乳腺外科の
立場から、また女性外来や心療内科の立場から性差医療についてお話
をしていただきました。

学生にとって性差医療の大切さを学ぶ良い機会になったのではないで
しょうか。



徳永えり子先生



雨宮直子先生

【学生の感想（抜粋）】

- ・発症率が男女によって違うとき、それによって対応が変わってくるので、性差医学・性差医療は必要だと思う。
- ・心療内科がどのような事をしているのか気になっていたもので、少しきけて良かったです。
- ・日本では高齢化社会における医療制度が問題視されがちであるが、女性が社会で重要な地位を占める機会が多くなっている現状を考慮しても、性差医学も早急に問題として取り上げられ取り組まれるべき内容だと思った。
- ・性差医療に関して自分の意見をしっかり持つことが出来ました。

九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX: 092-642-5203

2016年7月（隔月発行予定）

MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://www.kyudai-kirameki.com>



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター（医師1名・歯科医師1名）を紹介します。

自己紹介

卒後6年目、きらめきプロジェクトに所属して3年目の内科系医師です。夫(小児科)、長男(2歳10ヶ月)、次男(7ヶ月)の4人家族です。

きらめきプロジェクトに参加した経緯

大学卒業後、九州大学病院臨床研究センターで2年間の研修をし、2014年4月より九州大学内分泌・代謝、糖尿病研究室に入局しました。2013年に研修医の同期である夫と結婚し、2014年9月に第1子(長男)を出産しました。夫も職業柄帰宅が遅く、両親の手伝いを十分に頼めない(私の両親は病氣療養中、義理の両親は共に開業医)事もあり、産後の復帰をどのようにするか悩んでおりました。そんな折、研究室の上司からきらめきプロジェクトを薦めていただき、2014年4月から同プロジェクトに参加させて頂くことになりました。

きらめきプロジェクトに所属～現在

きらめきプロジェクトに所属してから、所属の研究室で甲状腺エコー(週1回)や外来(大学および外勤)をさせていただいております。私の場合、専門分野での知識や経験を積む前に産休に入ったことや初めての慣れない育児に追われていたので、フル勤務や病棟での復帰をできる自信が、正直なところなかったので少しずつのペースで復帰していける環境は、私たち親子にとっても大変有難いものでした。そして2015年11月に第2子を出産し、育児奮闘中です。

最後に

2人の育児は予想以上に大変ですし、仕事でのブランクはなかなかすぐには取り戻すことができず、落ち込むことも多々あります。しかし最近兄弟で嬉しそうに遊ぶ姿を目にするようになり、この子達を産んで本当によかったと改めて思います。そしてそのような環境を与えてくださったきらめきスタッフの皆様方、理解ある研究室の先輩および同僚の先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。そして息子達のめまぐるしい成長を傍で見守りながら、自分自身の専門領域でのスキルアップを着実に身に付けていきたいと思っております。

自己紹介

卒後12年目の歯科医師で、2015年4月よりきらめきプロジェクトに参加しています。

きらめきプロジェクトに参加するまで

大学卒業後、現在も所属している矯正歯科に入局し、卒後研修、大学院を経て医員として常勤で仕事をしていました。しかし、大学院在学中に家族が病を患ったことで生活が変わり始めました。年々、看病と仕事との両立が難しくなっていき、どちらにも支障をきたすことが増えて心身共に疲弊していましたが、仕事のペースを変えられたらと思いきらめきプロジェクトに応募しました。

現在の仕事

矯正歯科にて週に2回の外来診療を行っており、これまで担当していた患者さんの治療を継続しています。現在では顎変形症の患者さんの矯正治療と、矯正治療後の後戻りを防止するための保定管理を中心に診療しています。また、月に数回は周術期口腔ケアセンターでの外来診療も行っています。同じ歯科といっても専門分野が異なるため、当初は慣れないことが多く戸惑うことばかりでしたが、スタッフの方々にたくさんサポートしていただきました。

最後に

きらめきプロジェクトに所属してからは非常勤になったことで様々なことに対応しやすくなりました。家族の病状は一進一退ですが、働きながらも家族に付き添える時間が増えたことが何よりも良かったです。診療でも、それまでの担当患者さんの治療も変わらず継続することができており、多くの方々にきらめきプロジェクトのことを理解していただいているからこそ、本当に感謝しています。



10周年記念講演会のお知らせ



皆さまに愛され
きらめきプロジェクトは
今年で10周年

九州大学病院きらめきプロジェクト 10周年記念講演会

平成28年9月20日(火) 13:00~16:00

九州大学医学部百年講堂 大ホール

第一部 きらめきプロジェクト活動報告

榑木晶子：九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター 副センター長
徳永えり子氏：国立病院機構九州がんセンター乳腺科 部長
今村貴子：九州大学病院 全身管理歯科

第二部 記念講演

座長

青木玲子氏：九州大学男女共同参画担当理事
住本英樹氏：九州大学大学院医学研究院長

演者

水田祥代氏：福岡学園福岡歯科大学 理事長

「輝いて美しく：女性医療人へのエール」

久保真季氏：沖縄科学技術大学院大学 副学長

「男女共同参画は大学グローバル化のキーポイント」

古川貞二郎氏：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 会長

「豊かな社会と女性の活躍」

【お問い合わせ / お申し込み先】

九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

TEL/FAX : 092-642-5203

URL : <https://www.kyudai-kirameki.com>

Mail : kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

主催：九州大学

共催：福岡県医師会

学校法人福岡学園 福岡歯科大学

当日参加可
参加費無料

